巻末情報ページ

このページは直接学習とは関係ありません。
情報としてお役立てください。

学習ガイダンスレポート　70

レポート作成の秘訣　71

Webアンケート募集中！

レポート・スクーリング・科目終了試験・ピアノなどについて
様々な声をお聞かせください

アンケート　聖徳大学通信　検 索

※携帯電話では一部の機種によって表示されない場合があります。

学習ガイダンスレポート part 1

10月19日(日)に聖徳大学で行われた“学習ガイダンス”の様子を一部ご紹介します。
秋入学の新入生を中心に80名程が参加！
先生からのレポートアドバイス講座はレポートを作成する上で大切なことがぎゅっと詰まった1時間で、質問が盛んに飛び交う一幕もありました。さらに、卒業生や職員から学習に関するアドバイス、手続きに関する流れを聴くことで、不安や迷いも解消されたのではないでしょうか。

プログラム	
	教員によるレポート作成のアドバイス
	先輩からの学習アドバイス
	職員からの手引きをもとにした学習の流れに関する説明
	質問受付(個別)

教員によるレポート作成のアドバイス(一部抜粋)

山崎 奈々絵 先生 学部・短大

課題に内容を合致させる。
レポート課題の内容はしっかり掴んでいますか？

話し言葉ではなく、書き言葉にする。
なんで→なぜ　やっぱり→やはり

敬体ではなく常体にする。
～です→～である
～について考えます→～について考える(考察する)

長文を分ける。
「しかし」などの接続表現を適切に使用。

主語と述語を対応させる(文のねじれを起こさない)。

あいまいな文(2通り以上に解釈できる文)を避ける。

その他、文章の展開、データの活用、注の付け方、参考(引用)文献の挙げ方まで、基礎となる知識が満載の講座でした。

村山 隆雄 先生 司書課程

内容と形式
論文では序論・本論・結論・謝辞・引用文献と参考文献などを記す。
学習レポートの場合、字数制限があるので注意。
形式を伴わない内容はありません。

論述にあたって
簡潔に書くこと。
自身と他人の考えを峻別し、エビデンスに基づいて、自身の意見をのべること。

誤字脱字
PCを使う場合「変換」に注意。字面がきれいな分、見逃してしまう可能性がある。
手書きの場合は美文字でなくともよいが、正確に書くこと。
書き終わったら読み返す習慣を付けましょう。

その他、司書関連のレポートは「専門用語辞典」「百科事典」「学術図書」「学術雑誌」「新聞」などもより活用すること。また、引用文献についても標準的な記述に慣れるために、手引書を見るようにして欲しいというお話がありました。

参加者からの声
(実施後アンケートより一部抜粋)

とても参考になりました。内容も理解しやすく飽きることなく時間が過ごせました。

「分かりやすい文章の書き方」「読みやすい日本語」について、あらためて意識することができました。既に“身に付いていること”だとは思っていますが、もしかすると“変な書き癖”が付いてしまっているのかもしれないので注意していきたいです。

先生のお話は論理的でとてもわかり易かったです。今後の参考にしたいと思いました。参考文献の活用や、展開の仕方の工夫も是非やってみようと思います。

参考書籍

やさしい文章術―レポート・論文の書き方(中公新書ラクレ)	価格777円　送料25円
新版 大学生のためのレポート・論文術(講談社現代新書)	価格799円　送料25円
新版 論文の教室―レポートから卒論まで(NHKブックス)	価格1,296円　送料35円
伝わる・揺さぶる！文章を書く(PHP新書)	価格712円　送料25円

※上記参考書籍は、本学購買「ジャンティ三越」でも購入ができます。
郵送を希望する場合は、各種手引やしおりの巻末にある送金票添付の上、現金書留または郵便為替(無記入)でおつりのないように通信教育部までお送りください。
送料は切手で1冊単価×冊数の金額でお願いします。

参加できなかった方必見！

- 学習まるわかりガイド
- レポートアドバイスBOOK
- Webガイダンスギャラリー

を、聖徳大学通信教育部のホームページでご覧になれます！

www.seitoku.jp/tk/tk_info/tk_info.html

Webガイダンスギャラリー

聖徳大学で行われた教員による各種ガイダンスの模様を動画でお届けします！
NEW

卒業生が教える

レポート作成の秘訣

「レポートってどうやって書けばいいの？」「レポートは書いてみたけれど…」なかなか合格できずに悩んでいる方へ。
通信教育学務課では卒業生を対象としたアンケートを実施しました。
先輩の意見を参考に、今後の学習に活かしてみてはいかがでしょうか。

心理学科　北海道在住　平成26年9月卒業

Q　レポートを書くにあたり、アドバイスやポイント、行き詰まった時の対処方法などを教えてください。

A　レポート課題や、先生からの返信コメントで、先生の求めているものがすぐ伝わる場合と、そうでない場合がありました。

レポートは先生が求めているものを表現しないと合格しません。先生の意図が理解できなかったケースは、すでに合格している友人のレポートを見せてもらい、要点をつかみました。

困った時、友人の助けは大きかったです。質問票は一度も使いませんでした。

Q　どのように取組んだか、場所や習慣、1日のタイムスケジュールなども含めて教えてください。

A　基本的には1科目ずつコツコツとこなしました。

年間スケジュールが発表されたらレポート提出や試験の年間予定をカレンダーに書きこみ、できそうなものから1つずつ片付けました。

期日までにレポートを提出、試験1週間前は受験科目のテスト勉強、試験終了後はオフ日で勉強はせずリフレッシュ。

そして次の日からまた新しい科目に取り組むことをくり返しました。だいたい1ヶ月1科目ペースでした。

Q　卒業してから取組んでいることを教えてください。

A　レポートと試験に追われる日々から解放されて、今すごく時間にゆとりがあります。今は空き時間は趣味の時間に使いながら、次にどうするか考え中です。認定心理士申請中。3月心理相談員受講予定です。

保育科　千葉県在住　平成26年9月卒業

Q　レポートを書くにあたり、アドバイスやポイント、行き詰まった時の対処方法などを教えてください。

A　いくつかのレポートに取り組み、気分転換もしながら仕上げていました。合格した友人に参考になるアドバイスをもらったり、お互いに励ましながら、とにかく1つでも仕上げる！間に合うようにめげずに取り組みました。チョコを食べたり、音楽やマンガを読んだり、リラックスもしました。

Q　どのように取組んだか、場所や習慣、1日のタイムスケジュールなども含めて教えてください。

A　図書館が一番です。参考文献も多くあり、2〜3のレポートに取り組めます。また静かなので集中できます。

あとは何かの待ち時間など、わずかな時間も本や教科書を読み、レポートのまとめをしてました。聖徳通信に載っている年間の試験日、レポートの締切りを常に見える所に貼ると気合いが入ります！

Q　卒業してから取組んでいることを教えてください。

A　スクーリングや教科書で学んだだけでは、わからなかったことも今は仕事場で子どもや介護を通じてより実感がわき、毎日1日1日が学びの毎日です。

特に障害児に関する学習は今後更に必要な科目だと思っています。

保育科　東京都在住　平成26年9月卒業

Q　レポートを書くにあたり、アドバイスやポイント、行き詰まった時の対処方法などを教えてください。

A　私は一番最初に出したレポートが不合格で返却され、それからしばらくレポートを出せずにいました。その後スクーリング等で、友達とレポート何枚出した？という話になり焦り始め、大学の売店で売っていたレポートの書き方の本を見ました。そして私が始めたのがレポートの課題について教科書や参考書等から重要なポイントをどんどんパソコンに打ち込んでいき、それをまとめることです。レポートの課題ごとに、3〜5程のテーマに分けて、1つのテーマの内容がバラバラにならないようにし、最後のテーマでレポート全体の内容をまとめるようにしました。

最初はこの作業で1つの課題に1週間位かかってしまいましたが、卒業近くには2日ほどで書けるようになりました。レポートは自分との戦いなので出せない時期は出てくると思いますが、次の科目終了試験を目標に何枚レポートを提出する！など目標を持って頑張ってください。

Q　どのように取組んだか、場所や習慣、1日のタイムスケジュールなども含めて教えてください。

A　次の科目終了試験にこの教科とこの教科を受ける！と決めたらそれに間に合うようにレポートの計画を立てます。自分のスケジュール（仕事）の状況も考えて、ある時は1教科のみ、余裕のある月は3教科受けると決めます。

その計画に合わせて平日は1〜2時間図書館で借りた本を見て重要点をピックアップしていき休日に5〜6時間（最初は10時間位かかっていた）かけてまとめていきました。

まとめたのもを見直して清書するのにも2〜3時間かかるのでその時間も見通して期限までに提出できるようにしていきました。

Q　卒業してから取組んでいることを教えてください。

A　保育園で働いています。

日本文化学科　宮城県在住　平成26年9月卒業

Q　レポートを書くにあたり、アドバイスやポイント、行き詰まった時の対処方法などを教えてください。

A　教科書を読み込むことも重要ですが、まず課題が何なのかを把握することが重要です。レポート課題集で課題を確認し、その部分を重点的に教科書を読み込みます。その中でも重要な所は、線を引いて、レポートで引用して、自分の言葉で肉付けしていくとうまくまとまります。教授の中には、参考文献がないものでないと受け付けてくださらないものもあるので、参考文献は、最低1冊は見つけるとよいと思います。参考文献の見つけ方ですが、主にレポート課題集に書いてあるものを基本に読みます。しかし、レポートによっては、課題を自分で見つけなければいけないものや、書きたい内容が参考文献に詳しく載っていないものもあります。そのような時は、自ら図書館に行って、検索機にワードを入れて検索して、一つずつ見ていったり、検索機でうまくいかないときは、図書館員に尋ねれば、向こうで探してくれるのでうまく使い分けるとよいと思いますよ。

Q　どのように取組んだか、場所や習慣、1日のタイムスケジュールなども含めて教えてください。

A　私は主に図書館や、生涯学習センターでしていました。公共スペースであれば、無料ですし、周りの学生や社会人がいるというだけで、私もがんばらねばという気持ちになったからです。私は、塾講師のバイトをしており、午後出勤がほとんどだったので、午前中から昼時に掛けてレポートを毎日書いていました。これは、生活リズムが違ったら、出勤の時間以外でどこにレポートを当てられるかを考えれば、誰でも応用できます。最低2時間、休みの日は、3時間はレポートに費やしました。基本的に、1週間に1課題を目標にしていたので、5日間は文献（教科書を含む）を読んで、残りの2日間でレポートを書くという流れでした。読むときに、付箋を貼って、後はまとめるだけにしておくと、レポートを書くときに便利だと思います。年間に書くレポートスケジュールを作って、それに乗っ取って書いていくと、やらなきゃという気持ちになって、進められると思います。

Q　卒業してから取組んでいることを教えてください。

A　就職が6月に決まり、7月～アルバイトとして塾に勤めていますが、10月から本格的に勤め始めました。1月からは正社員しかも、夢だった教室長を任されるので、日々勉強中です。

心理学科　東京都在住　平成26年9月卒業

Q　レポートを書くにあたり、アドバイスやポイント、行き詰まった時の対処方法などを教えてください。

A　まずテキストをしっかりと読んで理解をすることが必要だと思います。

初めてのことなので分からないことも多かったですが、学校の図書館で調べたりそれにちなんだ本を読んだり。たまたま職場が障害児を扱う仕事なので障害児心理学などでは、職場の本を読んだりしてました。

心理学は論述形式なので、行き詰ることが多いです（笑）そんな時には一度、頭をリセットし、翌日もう一度考えてみます。またスクーリングに通ううちに仲良くなったりしたので、書くポイントを聞いたりしました。

レポートで不合格だったとしても諦めないで、また考えて提出します。何度でもトライする気持ちは常に持つようにしました。これは科目終了試験でも同じです。

Q　どのように取組んだか、場所や習慣、1日のタイムスケジュールなども含めて教えてください。

A　2012年10月から編入しましたが、7、8月の入学説明会の際におおよそのことを聞いていたので、まずは3年生で取れる科目をモチベーションが高いうちに出来るだけ多く学習するように心掛けしました。そして1年分のスケジュール（スクーリング、科目終了試験）の計画を立てました。10月に冬期スクーリングのレポート（認知心理学）、11月に心理検査理論、12月から1月に春期スクーリング（学習心理学、社会心理学、発達心理学Ⅰ、精神医学、ポジティブ心理学、人格心理学）を正月返上でやりました。2月に教育心理学、5月に障害児心理学、夏期スクーリング（臨床心理学）で9月に基礎心理統計法と心理学研究法といった感じに。1年後には発達心理学Ⅱと4年で取れる科目しか残ってなく2/3は単位を取っていたので「あともう少し！」と気合を入れました。

介護の仕事をしているので休みもなくなかなか時間は取れません。仕事から帰ってから朝までとか、休みの日に集中して勉強をしたりなど「出来る時にやる」を心掛けていました。

Q　卒業してから取組んでいることを教えてください。

A　現在は障害児の居宅とデイサービスの仕事を兼務しながら、認定心理士の申請をし、結果待ちです。

認定心理士の資格が取れたら、それを活かした仕事に就きたいので仕事を探しており、また11月には薬学検定試験を受験するのでその勉強中です。